

令和7年度 北上市立北上北中学校教職員 働き方改革アクションプラン

～いつも楽しく協働する職場づくり～

北上北中学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標:4人(R6年度:6人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」

・R7年度目標:0人(R6年度:0人)

【定性的現状】

○ 教職員の意識

・時間外勤務している教職員が固定している。

○ 管理職のマネジメント

・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ 生徒が笑顔になるために、本校に勤務する教職員の笑顔を増やします。

<目指す姿>

・ 職員自ら笑顔になれるような職場環境を構築し、教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

・ 管理職が教職員一人ひとりに声がけを行っており、業務に感ずる悩みだけでなく、私的な相談にも応じる雰囲気等を常にもっている。

・ 子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。

・ 業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。

・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 管理職が、教職員の体調に気を配り、無理すぎないように体調管理について積極的に声掛けをします。また、年次休暇等をいつでも取得できる雰囲気づくりに努めます。
- ・ 月の途中で月の時間外在校等時間が70時間超となった教職員に対して、管理職が当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、積極的な声がけを行います。
- ・ 健康相談事業等、教職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 多忙感解消に向け、教職員間の連携を促し、楽しく協働する職場づくりに努めます。
- ・ 管理職がICT活用を積極的に提案することにより、業務の効率化を進め、できる限り無駄な時間と紙などを排除します。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。(安全衛生委員会等)
- ・ 保護者宛案内文書については、徐々に紙での配付を廃止し、ホームページやメールでの配付・周知を行います。
- ・ 行事等については、安易にコロナ禍前に戻さず、学校教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう通知をします。
- ・ 地域移行できる業務について、業務の適正化を図るよう関係団体との協議を進めます。
- ・ 学校行事については、地域の理解・協力を得て対応します。
- ・ 教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 休日の部活動については、外部コーチ、保護者の協力をいただきながら、部活動の休養日のルールを確認し進めていきます。

令和7年4月21日 北上市立北上北中学校長 米川 聡

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕